

# AIITにおけるプロジェクト型学修（PBL）のための Backlogシステムの導入

中鉢 欣秀<sup>1,a)</sup> 小山 裕司<sup>1</sup>

概要：本稿は、情報処理学会論文誌ジャーナルに投稿する原稿を執筆する際、および論文採択後に最終原稿を準備する際の注意点等をまとめたものである。大きく分けると、論文投稿の流れと、 $\LaTeX$ と専用のスタイルファイルを用いた場合の論文フォーマットに関する指針、および論文の内容に関してすべきこと、するべきでないことをまとめたべからずチェックリストからなる。本稿自体も  $\LaTeX$  と専用のスタイルファイルを用いて執筆されているため、論文執筆の際に参考になれば幸いである。



図 1 AIIT で利用している Backlog のトップ画面



図 2 プロジェクトでのファイルの共有

## 1. はじめに



図 3 Git を利用したソースコードの共有

[illegible]

図 4 課題管理を利用している画面



図 5 Wiki を利用した議事録の作成

<sup>1</sup> 産業技術大学院大学  
AIIT, Shinagawa, Tokyo 140-0011, Japan  
a) yc@aiit.ac.jp

api.scoredoc.netで取得できるデータを記述

戻る形式: CSV (text/csv)

- 大会一覧画面 (GET /meets/enc\_fb\_id) (2012/8/17 変更)

iOSからの送信を期待する/パラメータ (2012/8/17 追記)

- enc\_fb\_id ... 暗号化されたFacebook ID

id,name,begin,updated\_at,editable,sort\_items  
大会ID,大会名,開始日時,編集日時,編集可否,表示順番  
※暗号化済 = ブラックマークしてるか否か(今は0);ブラックマーク総数(今は0);歩回数(今は0)

- トーナメント一覧画面 (GET /tournaments)

id,name,score\_type  
トーナメントID、トーナメント名、スコアタイプ(0: 得点あり、1: 得点なし)

- 試合一覧画面 (GET /matches)

match\_no,user1\_id,user1\_name,user1\_score,user2\_id,user2\_name,user2\_score,winner\_id,memo  
試合No、user1のID、user1の名前、user1のスコア、user2のID、user2の名前、user2のスコア、勝者のID、詳細  
※match\_noはトーナメント内でのみ一意。すべてのMatchレコードで一貫した番号ではない。

図 6 Wiki の利用例